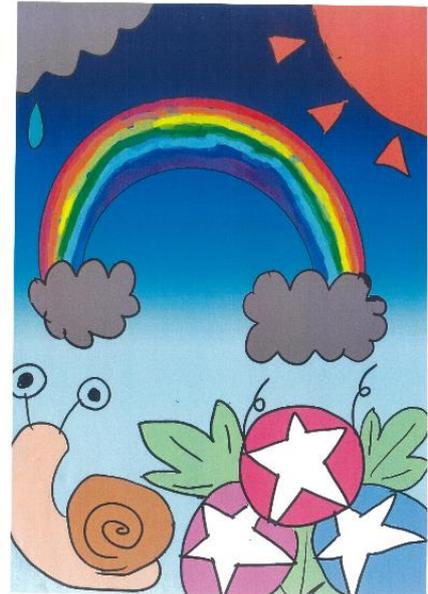


恵友会ニュース



題名：柿の花 作：八一参



題名：移り変わる天気 作：ゆあぷー



題名：夏のはじまり 作：山崎 雄介



題名：木漏れ日 作：菅沼 弘高



題名：初夏
作：宗圓 樹



題名：初夏 作：れみい☆

- 2・3P…令和5年度振り返り、新事務局長の挨拶
- 4P…ギッフェリ&ほっとスペース関内合同日帰り旅行報告
- 5P…グループホームの紹介
- 6P…未来へのバトン
- 7P…活動報告 南区精神保健福祉講座・法人全体研修
- 8P…巻末コラム

令和5年度の振り返りと令和6年度方針

理事長 坂口 育子

●中長期プランを基にした各事業所の事業計画の中から実践されたものを振り返ります。

法人事務局

既存の外部研修を活用して新人・中堅・管理職等の区分に体系化した階層別研修を開始し、法人組織全体を意識して行動できる人材の育成に取り組みました。コンプライアンス研修を通して、事件・事故を未然に回避できるよう危機管理を強化しました。令和7年度から始まる新中長期プランの準備として、推進の柱となる大項目、中項目を策定し、骨子案としました。

グループホーム

高齢化に対応した「つゆくさ」の新設もあり、入退居の多い年度となりました。「虹」のリフォームを行い、女性6名のホームとし、令和6年度には移転する準備を進めています。また、自立支援に向けて、サテライト型住居に住まわれている3名のうち、1名の方の地域移行ができました。

やすらぎ

ヘルパーの人手不足はありましたが、100名以上の利用者さんの調理・清掃・通院同行・買物・余暇活動等を支援しました。より適切で充実したサービス提供のため、コンプライアンス研修や調理実習を実施しました。精神障害者のヘルプサービスの動画を作成し、広報活動を行いました。

栄区生活支援センター

高齢化が進む栄区においては、単身生活となった方への食事提供数や相談が増えており、区内の地域ケアプラザにおいて出前相談を実施しました。福祉避難所である栄区生活支援センターでは災害発生時における事業継続計画(BCP)の対応策を見直す予定でしたが、実効性のある計画を策定するには、更なる検討と訓練が必要となりました。

南区生活支援センター

高齢化対応として地域ケアプラザと連携し介護保険制度の勉強会や事例検討会を行いました。また、障害への理解を深めるために地域の会議に参加し、生活支援センターの紹介をしました。地域貢献活動として精神障害者へのサービスの実際として恵友会の取組を動画紹介する機会を得ました。

ほっとスペース関内

平均通所者が安定しており、午後まで作業する利用者が増えています。厨房の衛生管理を徹底し、高騰している食材を工夫しながら、昼食料金を現状維持のままメニューを充実させました。エアコンを入れ替え、作業環境の向上を図りました。

サザン・ワーク

パソコン操作など利用者の得意な面を引き出し、菓子売上統計のグラフ化等に活かすことができました。清掃作業はこれまでの信頼を継続し、清掃単価をアップすることができました。また、独自の「就労ステップアップの進め方」を行い、利用者1名が就労に繋がるとともに、1名が単身生活に移行できました

ギッフェリ

体調不良や入院する利用者さんが多く、平均通所者を目標まで伸ばすことができませんでした。物価高騰でパンの販売価格を見直したこともあり、月間の収入が100万円を超える月もありました。就労支援への取組では、市の就労体験やビジネスマナー講座（5回開催）に参加するなど、利用者の就労意欲を高めることができました。

◎令和6年度運営方針

令和6年度は、中長期プランの最終年度として、プランの達成を目指し、引き続き事業運営を進めます。また、各事業所の更なる運営安定化を目指し、組織力向上と職員の育成、処遇改善の充実に努めます。将来に向けて、財政の安定や法人事業を拡大していくことを目指し、新中長期プランの準備を進めます。適正な運営と職員が法令遵守の意識を持てる仕組み作りに取り組みます。

各事業所が策定した感染症及び災害発生時における事業継続計画の実効性を高めるため、現計画の検証と見直しを行っていきます。

大貫新事務局長就任のあいさつ

4月から事務局長に就任した大貫義幸です。よろしくお願ひします。

前職は、横浜市社会福祉協議会障害者支援センターの事務室長として、主にNPO法人等が運営する作業所等の支援、監査等を行ってききました。その前は、横浜市職員でした。精神障害者福祉関係では、精神福祉課長や障害支援課長等を担い、三障害者施設の運営支援や監査、生活支援センターの設置等を担当してきました。そのほか、区役所の担当部長や福祉保健センター長、健康福祉局の部長等を務めてきました。

趣味は、主にマラソンと釣りです。マラソンでは、以前はトライアスロン大会や100キロレースにも出ていましたが、今はフルマラソン大会等に参加しています。また、釣りは、カワハギ、アオリイカ、ヒラメ、アカムツ等を狙って出船しています。釣りをやる方は是非、誘ってください。

普段は、週3回程度スポーツジムに通っています。そのほか、一昨年からは、近所の畑を借りて野菜作りを始めました。

今の目標は、70歳まではフルマラソン大会に参加すること。特に石垣島や沖縄マラソン等に参加すること。また、仕事では、農業と福祉の連携に取り組むこと。恵友会で多くの仲間を作ることです。

これから、いろいろお世話になります。どうぞよろしくお願ひします。



コックさん
C.N

ギッフェリ&ほっとスペース関内合同 日帰り旅行 in 千葉 ～海ほたる PA・マザー牧場・道の駅木更津～

2024年2月9日(金)、ギッフェリとほっとスペース関内合同で日帰り旅行を行いました。レクリエーションなどは徐々に再開できていたものの旅行はまだ出来ていなかったため、今回はコロナ明け初の旅行となりました。行先は海ほたるパーキングエリア～マザー牧場～道の駅木更津でした。



はじめに海ほたる PA にて散策を行いました。海ほたる PA では映えそうなスポットでの写真撮影をする人や、早速お土産を買う人もいました。滞在時間は短かったですが、パーキングからの景色も絶景で、とにかく設備が多くて広くて開放的な雰囲気がとても印象的でした。海風がとても強く非常に寒かった記憶があります。(笑)



海ほたる PA を出発してからマザー牧場に向かいました。思っていたよりマザー牧場への道のりが長く、眠りについてしまう方もいました(笑)。マザー牧場に到着すると、全員で集合写真を撮ってから自由行動となりました。ちょうどシープショーが始まる時間だったので各々が集まり、釘付けになりながらショーを見ていました。そしてその後昼食の時間となり、皆で一緒に歓談しながら食事を楽しみました。シープショーを見終わった後にラム肉を食べたときは複雑な味がしましたが…、美味しかったです。最後に道の駅木更津うまかつの里でお土産を沢山買ってから帰路につきました。数年ぶりの旅行でしたが、最後は皆笑顔で終わることが出来て良かったです。



グループホームの紹介

～グループホームのとある入居者の1日を紹介します～



6:00 起床
良く寝てリフレッシュ



7:00 朝食
しっかり食べて、今日も1日がんばろう！

8:00 作業所へ向け出発～作業所で作業
公園の清掃やガラス拭きなど作業内容は様々



14:00 作業所より帰宅
帰宅後入浴、洗濯をしてサッパリ
その後は居室で自分の時間を過ごしたり
交流室で他の入居者と談笑したり
職員の夕食作りのお手伝いなどして過ごしています



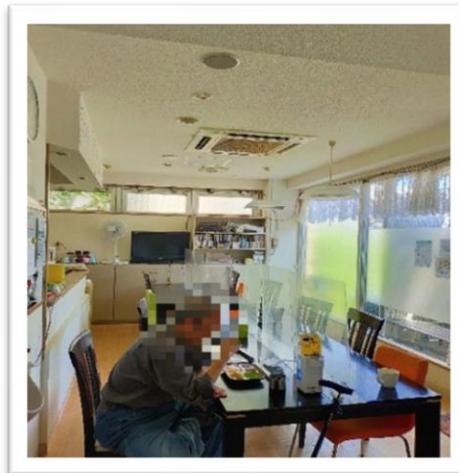
17:00 夕食
いつもボリュームたっぷりバランスの
良い夕食が提供されます
夕食後は交流室で他の入居者や職員と
歌を唄ったり、時には皆でトランプを
したり楽しい時間を過ごしています



19:00 居室に戻ってゆっくり…
テレビを見たり自分の時間でリフレッシュ

22:00 就寝
明日も元気にがんばろう

作者：字たらず 題：「風鈴」



未来へのバトン 第十回

「志は高く、腰は低く」

アート工房クローバー 山田聖也



初夏のあさがお
アムロ・レイ

横浜市中区山下町にある就労継続支援B型事業所アート工房クローバーの管理者と運営会社の株式会社ソシアルサポートの代表をしております山田と申します。

同じ中区ということで特にギッフエリさんとは前所長の関さんの時から運営面での助言を頂いたり、ギッフエリさんのギャラリーで作品展示をさせていただいたり大変お世話になりました。現所長の松本さんとも事業所間での連携だけでなく、中区障連の同じく理事として一緒に活動させていただいています。

クローバーについては、私の父が設立をしてこの五月で八年目になる事業所になります。二年目から「若い世代で事業所を作ってほしい」という方針から私が代表を引き継ぎました。

・福祉の仕事に興味を持ったきっかけ
そもそも私が福祉業界を志したきっかけは、三つ年下の弟に知的障害があるからでした。

弟は小学校の頃の登校班と一緒に学校に行こうとしても、途中に通る田んぼの虫が気になって座って動かなくなったりはぐれてしまい、周囲と合わせた行動が困難でした。自分自身も当時は障害に対しての理解もなく、周りからは「お前の弟変だな」とよく言われました。下校中に泣きながら帰っている弟も見えました。それに対して何もフォローもできず、言い返せず見て見ぬふりをしてしまった過去の自分に悔しさや情けなさを感じていました。また障害に対する知識や理解がもっと当たり前だったなら弟も嫌な思いをすることも減ったのではないかという気持ちで福祉の仕事に興味を持つきっかけとして大きかったです。

・事業所の紹介

クローバーの活動は、アートをはじめデザイン制作や清掃、冷凍スイーツの販売、軽作業など様々なインクルーシブスポーツなど作業以外のプログラムも積極的に取り入れているのが特徴です。色々なことに「まずはチャレンジしてみる」ということにかを入れていきます。

・今後について

クローバーとして今年は正念場ととらえています。ここ数年で中区内にもB型事業所が一気に増えました。それぞれが個性的な取り組みをしています。間違はなく互いに刺激し合い、急速に成長していくと思っています。そのスパイラルに取り残されることなく自分たちのアイデンティティを確立した事業所

を作っていかなければなりません。

そういった流れの中でクローバーとしては中区内のプロスポーツチームと連携に特に力を入れていきたいと考えています。具体的な内容は書ききれないので省略しますが、恩恵を受けるだけでなくチームの発展に少しでも貢献できるように継続的に連携していけると良いです。また取り組みの中で区内の事業所の工賃向上に繋がる試みも一緒にしていけるように動いていきたいです。

・最後に

私には大切にしている言葉があります。

「乗り越えた壁はいつか自分を守る盾となる」

お金もなければ知識もない、人脈も経験もない中、会社の代表となり事業所を現在まで運営してきました。

眠れないほど悩んだこともありましたが。吐きそうになって逃げたくなったこともありましたが。失敗して悔しい思いをしたことも何度も何度もありました。そんな時はこの言葉を思い出していました。ひとつひとつ壁を乗り越えていくとその乗り越えた壁が「経験」や「自信」となり、きっと自分を守る強靱な盾となって支えてくれます。

クローバーを設立して七年。まだまだ他の事業所と比べると様々な面で及んではいませんが、この言葉を大切に、いつかクローバーを、中区を代表するような事業所に築き上げていけるよう努力を重ねていきたいです。

～活動報告① 南区精神保健福祉講座～

第一部：大人の発達障害の理解

第二部：障害のある方が利用できる社会資源について

精神保健福祉講座を2024年2月27日（火）に開催しました。精神障害者についての医療の理解や社会資源の周知を目的とした講座です。今回は南区にお住まいの方を対象に、浦舟地域ケアプラザで開催しました。

第一部では、発達障害の理解を深めるため、発達障害者支援センターの山本様より講演頂き、第二部では、障害のある方が利用できる社会資源について、南区福祉保健センターと恵友会の事業所職員から社会資源や事業所紹介を行いました。



数多くの方にご参加いただき、質問タイムでもたくさんの方からご質問があがりました。

参加された方からは「何も知らない発達障害について、分かりやすく説明されて良かったです」等のご感想を頂きました。

～活動報告② 法人全体研修～

リスクマネジメント研修会 (心理的安全性向上について)

法人全体研修を2024年3月1日に開催しました。各事業所から総勢61名が一堂に集まり交流を深めながら、リスクマネジメント研修を行いました。

今年度も昨年度に引き続き（株）フォーサイトコンサルティング代表取締役、一般財団法人リスクマネジメント協会理事の浅野睦（あさのまこと）先生を講師にお招きし、心理的安全性を高める上で、大切な要素として、以下8つのことを教えていただきました。

- ①他愛のない会話
- ②多様性尊重
- ③チームでチャレンジ
- ④助け合い
- ⑤目的の共有
- ⑥個人の失敗の許容
- ⑦新奇歓迎
- ⑧自己開示



また、各々所属している事業所で、グループに分かれて意見交換を行いました。それぞれ違う視点を持った意見が挙がり、改めてコミュニケーションの大切さを学びました。あっという間に終わった二時間半の研修ですが、法人全体がさらに風通しの良い職場づくりを目指すきっかけとなりました。研修で学んだことを意識して日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

◆令和5年度 理事会／評議員会開催状況

- ・第4回理事会 令和6年 1月 12日
- ・第2回評議員会 令和6年 1月 29日
- ・第5回理事会 令和6年 3月 4日
- ・第3回評議員会 令和6年 3月 27日

◆ご寄付

- ・高橋 真理様 ・捜真女学校同窓会PTA様
- ・廣瀬 裕敏様 ・坂口 育子様

◎心より感謝申し上げます。患友会が行う精神障害者支援活動のために有効に活用させていただきます。

Column⑭

リバーサイドハイツ 木村 遊

昨年6月よりグループホーム「リバーサイドハイツ」に常勤職員として入職いたしました木村遊と申します。10年程前、南区生活支援センターで非常勤職員としてお世話になっておりましたので、もしかしたらご存知の方もおられるかと思えます。関東を離れ関西の兵庫県へ移り住むこと約8年、神戸市内の障害福祉事業所に務めておりました。地活・就Bを経て本部事務局で事務職をしておりましたが、この度、子供が幼稚園にあがるにあたり関東へ戻ることとなり、ご縁をいただき再度患友会にて働かせていただいております。

さて、私事で大変恐縮ではございますが、自己紹介も兼ねて趣味嗜好的なところについて語らせていただきます…とは言ったものの、趣味らしい趣味はあまりないので、好きなものやこだわりについて思いつくままに語っていきますね。

*衣服やアクセサリ、バッグ、筆記用具、PC、インテリア、その他ちょっとした小物パーツまでほぼ「黒」で構成されています。黒といっても質感も種類も様々なので、選択には苦労します。



*特にチョコミントアイスは幼少期から好んでいて、今後も変わることはないでしょう。春夏秋冬いつでもチョコミント、他のフレーバーがあってもやっぱりチョコミント。

*数字「絡み」ってことです。学生時代は数学（と遺伝子工学）が好きでした。計算も好きですが、例えば様々な事象や概念に対して思考し理解して、数字や記号を使って現したり証明していくみたいなの、そんなプロセスも好きだったりもします。あとは…微分積分が好きです、好きな数列はフィボナッチ数列、数字単体では0・2・9が好みです。

以上、色々好き勝手語らせていただきました。いつも黒い装いなので、見つけやすいと思います。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

【編集後記】

子どもは天からの預かりもの。今年の春、娘が高校に進学しました。思えば、何度かこのニュースのあとがきに幼い頃の娘の事を綴ったのが思い出されます。毎日楽しそうに高校生活を送り、日に日に新たな世界を広げていく娘の姿に感慨もひとしおです。自分の可能性を信じて、思う存分世の中に羽ばたいていてもらいたいと心から願います。さて、4年間携わった広報委員ですが、今回のニュースで任期が終了となり、次号からは長尾所長にバトンタッチします。今までありがとうございました。（関）

●発行元／社会福祉法人患友会 ●理事長／坂口 育子 ●編集校正／広報委員会 委員長 関 直起
●法人事務局／〒231-0035 横浜市中区千歳町 1-10 Jビルディング 4F
TEL 045-253-3432 FAX 045-242-2503 ホームページ <https://keiyuukai.yokohama/>

令和6年度新採用職員

- ・吉村 真由美 グループホームすずらん荘
- ・鈴木 颯 栄区生活支援センター
- ・宮原 優夏 南区生活支援センター
- ・竹内 あかね 南区生活支援センター